

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	生体構造機能学 Anatomical and Physiological Research			担当 教員	渡邊定博（専任） 二木 啓（専任）	
開講年次	1年次後期	単位数	2単位	科目 分類	共通科目 研究方法科目	授業形態	セミナー	
選択必修	選 択	時間数	30時間			使用教室		
授業の目的及びねらい		<p>生体の機能及び構造に関する研究方法を教授し、看護実践過程で遭遇する事象や課題を自然科学的に基礎づける手法を追求する。</p>						
授業のキーワード		<p>解剖学、生理学、科学論文作成方法、実験研究、科学的研究</p>						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第1回 ～ 第15回	<p>生体の構造や機能を解明する研究方法について、研究論文等を参考資料として以下の視点から考察を加える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実験研究の立案がどのようになされているか 2. 実験計画に基づいて実際の研究がどのように実行されるか 3. 実験の結果得られたデータはどの様に処理されていくか 4. 実験結果を基に論文を作成するにはどの様な作業が必要か <p>これらの視点を元にして、看護実践において遭遇する様々な検査データや研究データを客観的に読みとる手段を探り、科学的また論理的判断に立った処理とは何かを考える。</p>							
テキスト	<p>文献検索により随時入手する。</p>							
参考文献	<p>必要に応じて提示する。</p>							
成績評価の方法	<p>授業はセミナー形式をとり、学生がそれぞれ分担した内容を抄読し討議する。このセミナーへの取組状況により評価する。</p>							
教員から学生へのメッセージ	<p>授業内容の進め方については、担当教員と協議の上決めます。</p>							